



JIMGA-T-S/45/19

**水素ガス集結容器
集合配管管理基準**

2019年12月

Dec. / 2019

一般社団法人

日本産業・医療ガス協会

Japan Industrial and Medical Gases Association



水素ガス集結容器 集合配管管理基準

本基準は、平成3年に旧水素工業会で制定された集合配管管理基準を日本産業・医療ガス協会水素分科会技術 WG で見直し、JIMGA 基準として制定したものである。この度 JIMGA 水素技術 WG による第2次改訂を行った。

保証免責についての注意書き

JIMGA の全ての技術的な刊行物は、それらの発行日時点での妥当な信頼できる情報源による最新の技術情報及び経験を基にしている。

JIMGA はメンバーがそれらの刊行物を参照若しくは使用することを強く推奨するが、それらは最終的に純粋に自主的判断によるものであり、拘束するものではない。

JIMGA は、JIMGA の刊行物に含まれる情報若しくは示唆のメンバーによるそれらの遵守実行或いは非実行、誤った解釈、適切または不適切な使用等に関していかなる管理もできない。

よって、JIMGA はその技術的な刊行物に含まれる情報若しくは示唆の参照或いは使用による信頼性若しくは妥当性および結果の保証をするものではなく、またそれらに関していかなる責任も負うものではない。

JIMGA の刊行物は定期的見直しにより内容が変更されるので最新版を参照のこと。

本文書の著作権は JIMGA にあります。複製には JIMGA の許可が必要です。

一般社団法人

日本産業・医療ガス協会

JIMGA (Japan Industrial and Medical Gases Association)

〒105-0012 東京都港区芝大門 2-8-13 サクセス芝大門ビル4階

TEL : 03-5425-2255(代) FAX : 03-5425-2256

URL : <http://www.jimga.or.jp>

ま え が き

本基準はJIMGA水素分科会の前身である水素工業会が平成3年10月に自主基準として制定した「水素ガス集結容器集合配管管理基準」をその後の法改正による語句、技術革新に伴う検査方法等の見直し、検査における人的誤操作（ヒューマンエラー）の排除等々の観点から、改訂版として見直したものである。

見直しは主に次の点に留意して行った。

1. 通常点検基準と精密検査基準の違いを明確化するとともに、語句等の見直しを行い、検査の実施手法に現在の方式を反映させた。
2. 各非破壊検査の種類に関する規格に関して最新のJISを取り入れた。
3. 添付した点検表は点検の抜けや記載ミスを極力排除するよう、その構造に一致する点検シートとした。

水素のエネルギー利用という大量の新規利用が見込まれる現在において、輸送上の事故は社会へ大きな影響を与えます。水素ガスを供給する者として、その安全管理はこれまで以上に重要であることを再認識していただき、本基準を今後の安全の維持・向上にお役立ていただければ幸いです。

最後に本基準の作成にご協力いただきました関係各位に深く感謝申し上げます。

2019年12月

一般社団法人 日本産業・医療ガス協会
水素技術 WG

検討メンバー

本基準の見直し作業は、水素技術WGにおいて 2019 年度に実施した。
検討にあたったメンバーは以下である。

岩谷瓦斯株式会社	WG 長	御手洗 浩二
岩谷瓦斯株式会社	事務局	福間 淳一
昭和電工ガスプロダクツ株式会社	副事務局	鈴木 秀行
大陽日酸株式会社	副事務局	栗田 英次
尼崎水素販売株式会社		石井 政行
伊藤忠工業ガス株式会社		生原 一樹
岩谷産業株式会社		森 靖朗
エア・ウォーター・ハイドロ株式会社		板谷 誠
日鉄ケミカル&マテリアル株式会社		大内山 智哉
株式会社鈴木商館		大山 裕之
東亜テクノガス株式会社		菰渕 義秋
東京ガスケミカル株式会社		島崎 洋一
東曹ダイスイ株式会社		折尾 美昭
東邦アセチレン株式会社		安齋 誠治
新潟水素株式会社		森川 久
日本エア・リキード株式会社		那須 昭宣
福岡酸素株式会社		立川 裕康
北酸高压瓦斯株式会社		矢郷 篤志
丸由工材株式会社		澤田 庸介
株式会社渡商会		安久井 満
日本産業・医療ガス協会	事務局	山本 卓也

目 次

1	総則	1
1.1	適用範囲	1
1.2	基準の種類	1
2	通常点検基準	1
2.1	目的	1
2.2	返却容器の点検	1
2.3	充填時の点検	2
2.4	出荷時の点検	3
3	精密検査基準	3
3.1	目的	3
3.2	容器再検査時の精密検査	4
3.2.1	法定検査	4
3.2.2	法定検査以外の検査	5
3.3	その他の検査	9
3.3.1	各非破壊検査の種類	9
3.4	配管の洗浄及びフラッシング	10
3.4.1	洗浄の種類	10
3.4.2	フラッシング	10
3.5	検査実施上の注意事項	10
3.6	再検査後組立時の注意事項	11
3.7	組立完了後の確認	12
3.8	試運転時の確認	12
添付表		
	表-I ～ 表-IV	14 ～ 17